



おい町

# 議会だより



ウソ(鷺)学名:Pyrrhula pyrrhula

カメラで撮る  
地元の野鳥



春を告げる  
イサザ魚

(12面に関連記事)

## Index

- こんなことが決まりました ..... 2
- 議会活性化通信 ..... 5
- 一般質問 (3月定例会) ..... 6
- 研修視察報告 ..... 10
- あれからどうなったの? ..... 11
- 楽しむ人 ..... 12

# No.17

平成22年4月27日発行





**3月  
定例会**

# こんなことが決まりました

3月定例会(2月22日～3月11日)では、一般会計補正予算(△6億865万7千円)や、名田庄総合施設建設工事請負契約の締結、平成22年度一般会計予算(86億5,300万円)など32議案を原案どおり可決しました。

その他、陳情書1件を不採択、3件を採択し意見書を提出することを決めました。また、おい町選挙管理委員会委員・補充員の選挙を行い8人の方を選任しました。

## 新年度予算114億5千万円を可決 町長選を控え骨格予算として編成

平成22年度当初予算9議案は、予算決算常任委員会に付託され、3日間にわたり慎重に審査が行われました。

平成22年度当初予算は、町長選挙を控えていることから、骨格予算として編成されており、経常的経費や義務的経費、緊急を要する経費だけが計上され、それ以外の投資的経費や政策的経費、新規事業の予算計上は見送られています。

このような方針で編成された一般会計の規模は、86億5300万円となり、前年度比43億7300万円の減、33.6%の大幅な減となっています。

また、特別会計は、2年間の経過措置を終了した老人医療事業特別会計が廃止され、8つの会計となりました。

その特別会計の総額は、27億9607万5千円となり、前年度比2億3759万2千円の減、7.8%の減となっています。

予算全体では、114億4907万5千円となり、前年度比46億1059万2千円の減、28.7%の減となっています。

歳出の性質別では、消費的経費は、骨格予算編成の影響から、全体の56.6%を占めるに至っています。

一方、投資的経費は、債務負担行為の予算計上を行っているものだけを計上していることから、29億1185万2千円の減、60.8%の大幅な減となっています。

歳入面では、自主財源が前年度に財源不足を補うために計上した「財政調整基金」や「減債基金」、うみんぴあ大飯複合型交流施設取得のための、「電源立地地域振興基金」の繰入金が見送られたことを主な要因として、大幅な減となっています。

また、依存財源についても、主に投資的経費の計上を見送ったことにより、それに充当する交付金などの計上を併せて見送ったことにより、大幅な減となっています。

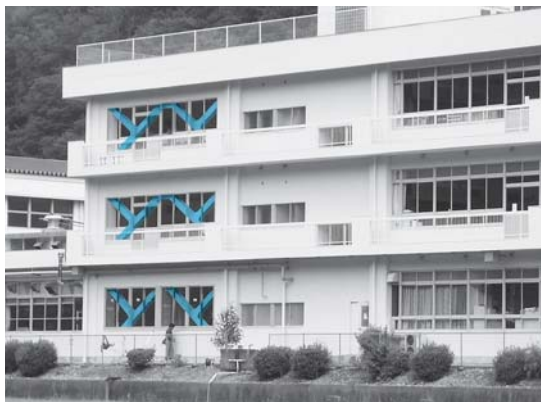
### 重点事業

●子ども手当の支給  
1億6148万6千円

●水産加工センターの管理  
353万7千円

●うみんぴあ大飯事業  
3億2008万9千円

●名田庄小学校耐震補強工事など  
1億7826万8千円

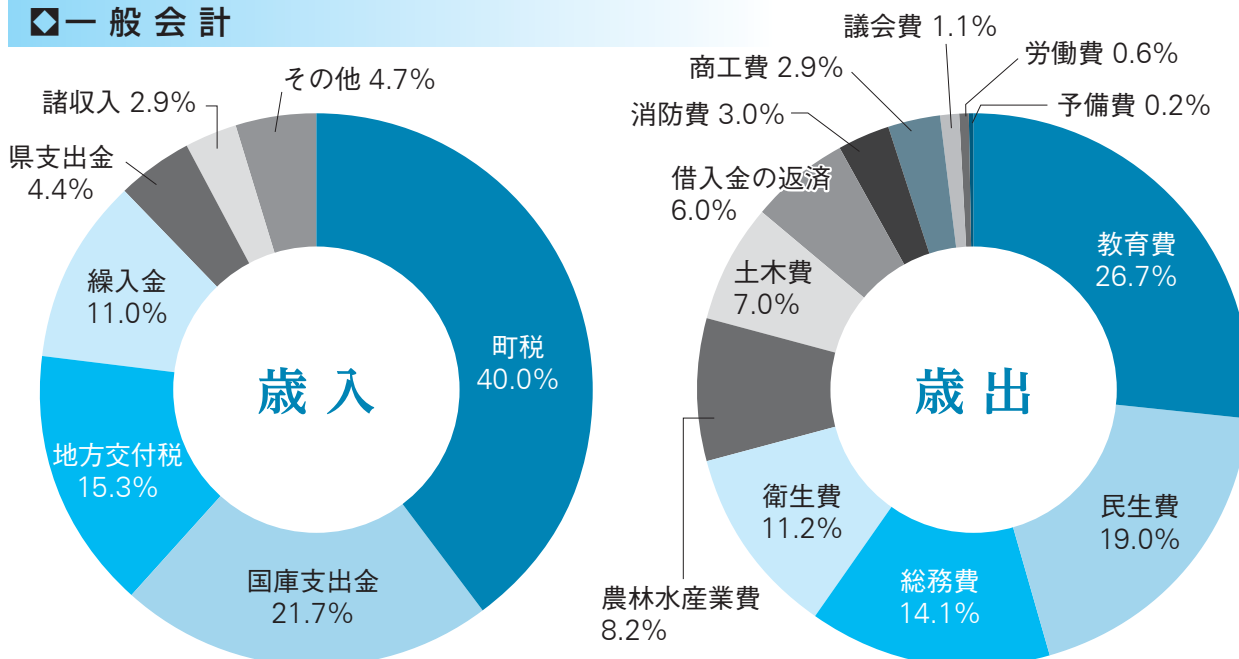


筋交いで耐震補強が進められている名田庄小学校

●名田庄総合施設の整備  
12億7770万円

一般会計	86億5,300万円	33.6%の減
特別会計	27億9,607万5千円	7.8%の減
合計	114億4,907万5千円	28.7%の減

### ◆一般会計



### ◆特別会計

(単位：千円)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	伸び率
老人医療事業特別会計	廃止	9,449	皆減	-
後期高齢者医療事業特別会計	90,903	91,157	△254	△0.3%
国民健康保険事業特別会計	814,550	855,381	△40,831	△4.8%
国民健康保険診療事業特別会計	116,079	186,554	△70,475	△37.8%
介護保険事業特別会計	714,421	697,453	16,968	2.4%
介護サービス事業特別会計	12,103	12,136	△33	△0.3%
簡易水道事業特別会計	574,387	593,153	△18,766	△3.2%
農業集落排水事業特別会計	347,700	441,205	△93,505	△21.2%
特定環境保全公共下水道事業特別会計	125,932	147,179	△21,247	△14.4%
合計	2,796,075	3,033,667	△237,592	△7.8%

## おい町選挙管理委員会 委員4人・補充員4人を選挙

任期満了に伴うおい町選挙管理委員会委員と同補充員の選挙を行い、次の方々がそれぞれ当選されました。

#### 【選挙管理委員】

・選挙の期日

平成22年2月22日

・選挙の方法

指名推薦

・当選者

大島 中間 松壽  
本郷 松宮 一仁  
名田庄挙野 横井 徹生  
久保 柿本佐代子

#### 【選挙管理委員補充員】

・選挙の期日

平成22年2月22日

・選挙の方法

指名推薦

・当選者(補充順位)

名田庄三重 前田 善男 (1)  
岡安 芝原百合子 (2)  
小堀 永井 眞一 (3)  
名田庄堂本 森本 國昭 (4)

**総額約8億5162万円を減額補正  
緊急経済対策事業には9833万9千円を盛る**

国の補正予算に盛り込まれた「地域活性化・きめ細やかな臨時交付金」を財源とする緊急経済対策事業の追加や、事業費の確定による不用額の減額を行うものです。

特別会計補正予算と併せて10議案が、すべて原案どおり可決されました。

**一般会計** ▲6億865万7千円

**【主な歳出】**

・子ども手当対応システム改修 256万2千円



6月から支給される子ども手当

・なごみ診療所の医療設備等整備  
基金積立金

4012万7千円

・道路の維持補修工事など

3930万円

・橋梁の維持補修工事

1300万円

・新型インフルエンザ流行による  
中学生海外派遣の中止

▲986万3千円

**老人医療事業特別会計**

▲124万5千円

**後期高齢者医療事業特別会計**

▲164万円

**国民健康保険事業特別会計**

▲5938万8千円

**国民健康保険診療事業特別会計**

▲3832万6千円

**介護保険事業特別会計**

▲2902万2千円

**介護サービス事業特別会計**

▲50万円

**簡易水道事業特別会計**

▲5289万1千円

**農業集落排水事業特別会計**

▲5517万5千円

**特定環境保全公共下水道事業特別会計**

▲477万5千円

**総務常任委員会付託議案**

●**名田庄総合施設建設工事請負契約の締結**

名田庄久坂地係に新たな生涯学習の場として、図書館とホールを備える複合型総合施設を建設する工事で、入札の結果、株式会社こんどう・株式会社日登建設 名田庄総合施設建設工事特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社こんどう 代表取締役 近藤和司が12億1700万円で落札しています。

(全会一致 可決)

●**総合運動公園の設置・管理に関する条例の改正**

フィットネスセンターの現状での利用形態や、現会員の利便性を高めるため、会員区分にジムだけを利用できるものを新設しようとするもの。

この改正により、ジムだけを利用される方は、現在7千円の月会費(条例での上限8千円)が5千円(条例での上限と同額)で利用できるようになります。

(全会一致 可決)

●「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書提出に関する陳情

教育環境を良くする県民の会長 屋敷勇から提出されたもので、政府に対して、婚姻制度や家族の在り方に極めて重大な影響を及ぼす「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対する意見書提出を求めるもの。

(賛成多数 採択)

**産業建設常任委員会付託議案**

●**町営住宅等の設置・管理に関する条例の改正**

町が管理する町営住宅などから暴力団員を排除するため、入居資格要件などを変更しようとするもの。

(全会一致 可決)

●**水産加工センターの指定管理者の指定**

大島地係において整備された「水産加工センター」の管理を、株式会社おおいを指定管理者として行わせようとするもの。

(全会一致 可決)



# 議会活性化通信

議会活性化特別委員会

委員長 新谷 欣也

初めての試みである議会報告会を  
1月16日・23日に町内4カ所（名田  
庄、佐分利、本郷、大島）で実施し  
ました。

今回は議員全員が2班に分かれ、  
区長、副区長さんを対象に「議会活  
性化方策」についてまとめた中間報  
告の説明を行いました。（内容は前  
号の議会活性化通信に掲載）

出席者は4地区合計して60人で、  
質問や貴重な意見がありました。同  
時にアンケート調査も実施し、その  
結果は下記のとおりです。

また、議会活性化に対する主な意  
見としては、

- ① もっと分かりやすい説明をして  
ほしい。
- ② 議会のスピード化（一般質問の  
応答内容）を図ってほしい。
- ③ 町民の意見を広く議会に上げる  
活動を希望する。

その他議会に対しての意見として

は、

① 年1回集落ごとに報告会を実施  
してほしい。

② 議員は地区の代表ではなく、町  
民の代表として議論をしてほし  
い。

③ 報告会は大変必要です。今後は  
身近な問題を取り上げてほし  
い。

④ 報告会は必要なし。広報で十分  
だと思ふ。

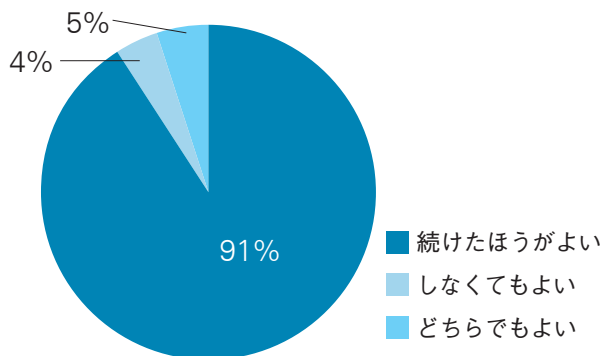
今回の報告会で議会活性化方策の  
目的、概要は概ね理解いただけたと  
思っています。

今後は指摘のあった開催回数、対  
象者、報告内容などを検討して、議  
会の活性化、最終目標の「議会基本  
条例の制定」を目指していきます。

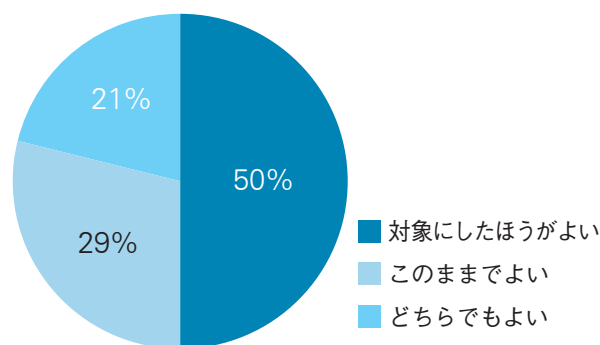


名田庄会場での報告会の様子

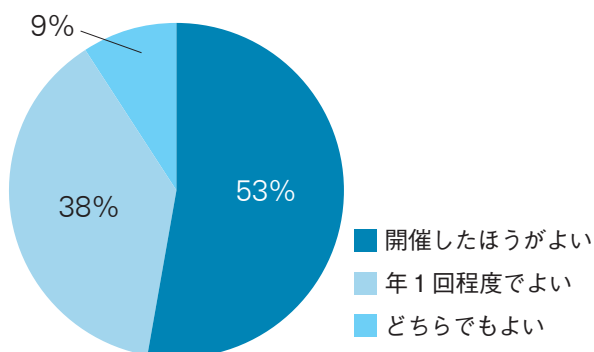
## 今後も続けた方がよいですか？



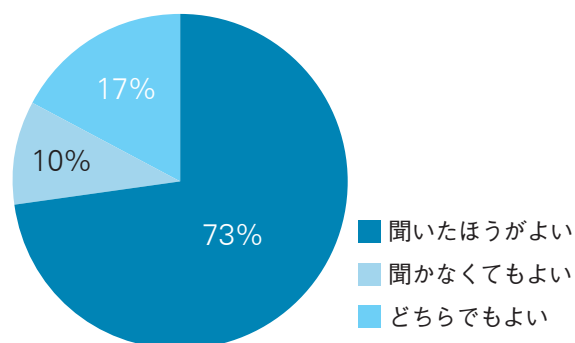
## 全町民を対象にした方がよいですか？



## 年に数回開催した方がよいですか？



## 各地区の要望を聞いた方がよいですか？



## 一般質問

四人の議員が町政をたずさ



新谷 欣也

町長の出馬表明で示された件を改めて問う

「活気に満ち、魅力ある町づくりの実現に努力します」

**問** 企業誘致をはじめとする「うみんぴあ大飯事業」と地場産業との共生は。

**答** (町長) うみんぴあ大飯を核とした産業創出や企業誘致により、若者の町外流出を抑え、両地域の豊かな自然や、観光施設をもとに観光を活性化させます。

**問** 保健・福祉・医療などの充実・強化策は。

**答** (町長) 「なごみ診療所」、「名田庄診療所」のさらなる充実を進め、町民の皆さんが健康で楽

しく社会参加ができるように健康をバックアップしていきます。

**問** 水資源の確保はどのように考えていますか。

**答** (町長) 永きにわたり懸案となっている水資源問題を解決するため、「水道ビジョン」に基づき、政策を進めていきます。

**問** 道路行政などのインフラ対策はどのように進めるのですか。

**答** (町長) 大飯地域と名田庄地域を結び「主要地方道坂本高浜線」の整備をはじめ、両地域における社会資本などの格差是正を継続して進めていきます。



整備が続けられている坂本高浜線

**問** 合併の懸案事項である「格差是正」の問題は、本町として重要不可欠な事項です。5年以内で統一する目的の最終年度に入りますが達成できますか。

**答** (町長) 格差の是正は、これまでに上下水道料金、固定資産税など数多くの調整を行い、ほぼ順調に統一をしましたが、未だいくつかの重要課題を残しており、その解決に全力を傾注していきます。

**問** 国は教育への負担軽減の対策として、高校の授業料の無料化や授業料相当額の助成などを計画していますが、本町では、高校生のある世帯への通学費用の助成は考えられませんか。

**答** (町長) 高校は義務教育でないことや、高校教育を担っているのは県であることから、一義的には県が何らかの方策を示すべきであると考えますが、町民のご支援が得られ、引き続き町政を担当することができましたら、積極的に取り組むたいと考えております。

**問** 現在の小学校卒業までの医療費助成を中学卒業まで延

長できませんか。

**答** (町長) 引き続き町政を担当が優しい町」を目指し、中学生までの医療費の無料化の援助といった、万全の「子育て応援」に積極的に取り組みます。

**問** 町長選に臨む町長の姿勢は。

**答** (町長) いい町だと実感できる町づくりを実現していく強い理念で臨みます。

**問** 首長の選挙では、公開の場において正々堂々と政策論議をすべきものと考えますが、町長はどのように考えておられますか。

**答** (町長) 今回の選挙では、町民の皆様と共に、やらなければならぬ課題に取り組み、「おおいの明日のため、より具体的に夢を実現する」という理念のもと、この町をよくしていこうという思いから、出馬を決意しました。

私自身の思いを町民の皆様にお伝えするために、候補者どうしの公開討論も有効な手段であり、強く希望します。



田中 景子

町長の在職期間を振り返って  
多くの事業が順調に推移し、  
多岐にわたり改革が進んだ

問

中期振興事業実施計画の実  
施状況は。

答

(町長) 計画策定後2年が経  
過しましたが、現時点にお  
いて、ほぼ計画どおり進んで  
います。

さらに、政策ヒアリングなど  
問題や課題の洗い出しと見直し  
を行い、より実効性が高まるよ  
うに努めます。

問

中期振興事業実施計画の中  
でやり残した事業はありま  
せんか。

答

(町長) 計画期間の半ばも経  
過していない現時点では、  
総合的な判断をする段階では  
ないと認識をしています。

問

マネーフエスタの達成度につ  
いては。

答

(町長) 町全体の均衡を図る  
ことを前提に、合併後、最  
長5年間を目的に各種事業が順  
調に進捗しており、一定の評  
価をいただいているものと思  
っています。

問

事業執行の中で充分にコス  
ト意識が満たされましたか。  
(副町長) 充分ではありません  
が、一定の取り組みはでき  
たと考えています。

答

コンサルタントへの委託料  
は妥当なものですか。

問

(町長) 設計基準の中にコン  
サルタント料が入っており、  
すべて妥当です。

反

(町長) 外部コンサルタント  
を用いないで行うとすれば、  
どのような方法があるのかお  
示し願いたい。(町長が初めて  
反問権(※)を行使)

答

(田中) この様にしてください  
いとは言っていない。今ま  
での議事録を見て考慮してく  
ださい。

問

名田庄バイオテック横や西  
谷地区、三森地係にも土地  
を購入していますが、今後ど  
う利用していくのですか。



三森地係の林産加工施設用地

答

(町長) 当初は、目的をも  
って計画的に購入しましたが、  
その後、社会変動の大きな波  
を受けて経済情勢も変わって  
います。

問

今後は、地域の方とよく話し  
合い、有効的な利用を進めま  
す。使用済核燃料中間貯蔵  
施設を誘致する考えはありま  
せんか。

答

(副町長) 県は、県内には  
燃料サイクル施設は設置し  
ないとの意向を表明し、継承  
していません。

国も青森県むつ市で日本初  
の中間貯蔵施設の安全審査を  
行っており、その動向を注視  
していきます。

問

中間貯蔵施設の誘致について、  
首長会議などで話し合  
われたことがありますか。

答

(町長) 一切なく、話題に  
すべき課題ではないと考えて  
います。

反

(町長) 痛みを共有する理  
念から、県も事業者も「県外」  
で努力しているときに、あ  
えて首長会議で取り上げる  
ということですか。

答

(田中) 県内に誘致をする  
議論くらいあってもいい  
と思います。

問

ある雑誌で、本町の給与・  
昇格に格差の実態があると  
報じられましたが、事実  
関係は。

答

(町長) 本会議で匿名雑  
誌の記事を述べられるの  
はいかがなものか。

答

(副町長) すべての職員に  
対して正当性のある勤務  
査定を行っています。

※反問権

議長の許可により、議員の質  
問に対して、論点・焦点を明確  
にするため、行政側から議員に  
質問することができる権利





小野 泰孝

**■名田庄総合施設の  
後の運営は**

**住民の声を広く聴き、  
検討します**

**問** 住民を主体とする生涯学習推進委員会の意向を十分尊重し、予算措置も可能な限り認めることはできませんか。

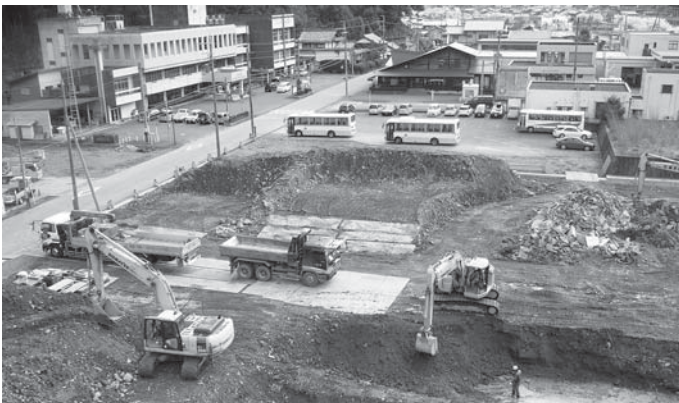
**答** (町長) ワークショップ形式の会議「みんなで考える集い」における話し合いでは、公民館・図書館、あるいは、ホールを利用してオープニング事業として記念的に実施するもの、あるいは、定着させて定期的に実施したい事業などを自由にかつ具体的に提案していただいている段階であると聞いています。今後、こうした「みんなで考える会」の開催などを通じて、新しい施設に住民が何を求めているのかを、町民の皆様の声を広く聞きなが

ら、検討していきます。

**問** 総合施設の愛称は、その後、どのような検討段階に入っていますか。

**答** (町長) 施設の名称・愛称の役割は、町民の皆様に施設への関心を一層高めていただくものと考えています。

最終的な選定の方法は、現在、検討を行っているところです。



建設工事が始まった名田庄総合施設

**■学校におけるいじめの  
調査結果は**

**「過性のものがほとんど  
で、解決しています**

**問** 県教委に送られた2008年度のいじめ調査結果は、本町ではどのような状況でしたか。

**答** (教育長) 小・中学校併せて74件の報告がありました。認知数としては多い状況ですが、詳細に見てみると、冷やかしさからかい、軽く叩かれたりしたなどの一過性のものがほとんどであり、それらは既に解決しています。

いじめを発見し、解決に取り組んだ学校などの努力を評価したいと思います。

**問** いじめの新定義は、従来の定義と比べてどのように変わつたのですか。

**答** (教育長) 2005年度までのいじめは、「自分より弱い者に対し、一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているもの」とされてきました。

2006年度からは、「児童生徒が、一定の人間関係にあるものから、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的苦痛を感じるもの」と定義されました。

この定義の大きな違いは、旧定義がいじめの側に視点を置いたものであったのに対して、新定義ではいじめられる側にたった視点が変わったことです。

**問** 本町における本年度のいじめの状況が分かっていたら、概要を教えてください。

**答** (教育長) 本町では、各学期に行うとともに、個別懇談、悩み相談、日常生活の観察、日記などでの把握、保護者との面談など、いろいろな場や方法での観察を行い、いじめの早期発見と解消に取り組んでいます。その結果、2学期末では、34件のいじめが確認されていますが、ほとんどのいじめは解消されており、残っているいじめも、解消のための取り組みが継続されています。





猿橋 巧

### 原子力行政の諸問題を賢く 安全・安心の確保を最優先に

**問** 最近の事故は、原子力発電の重要な機器で発生しています。

安全性確認の総点検が必要では。

**答** (町長) その都度、原因を調査し、対策への厳しい指導や、万全の対応策を要求しています。

**問** 40年を超す長期継続運転の方針ですが、老朽化した原発での運転は、住民の不安が大きいことから、止めるべきでは。

**答** (町長) 運転開始後30年を経過する高経年炉を有する本町にとっても他人事ではなく、町民の関心も高くなっています。

安全対策では、県が国に対し、「中間安全確認の実施」や「厳格な検査の実施」を要請し、既に承認されています。

**問** 活断層評価の見直しにより、大飯原発の耐震補強対策が行われていますが、700ガル以上の対策がとられるまで即時停止すべきです。

**答** (町長) 国で審議中の耐震安全性評価は、平成19年改訂の新指針を踏まえて行われています。事業者は、国要請のもと、常に安全側に立ち対策を行っているものと認識しています。

### 「集落ぐるみ町民指標活動 事業交付金」の見直しは 来年度中に結論を出します

**問** 発足時の意義や財政運営のあり方、また、合併に伴う今後の方針など、事業を見直す時期にきているのでは。

**答** (企画課長) 昭和61年度から交付を開始しましたが、平成4年頃からは基金の運用益での対応ができなくなり、今は、そのほとんどを一般財源で賄っているのが現状です。

来年度中には、問題点を整理しながら結論を出します。

### 子ども医療費助成事業 の充実を 子育て支援策として重要な役割を果たしています

**問** 医療費は、年齢が高くなるにつれて減り、予算的にも500万円程度で対応できるなら、対象を高校生まで広げてはどうか。



なごみ診療所での診療の様子

**答** (町長) 将来のおおい町を担ってくれる子どもたちのため、育てやすい環境を作っていくことが必要で、この制度も子育て支援策として重要な役割を果たしています。

年齢の引き上げは、中学生までを対象として取り組む考えです。

**問** 医療費の支払方法を、カード発行による現物方式(窓口無料化)にすれば、一層利用者に喜ばれると思いますが。

**答** (なごみ保健課長) 国民健康保険制度上、現状では国のペナルティもあり影響は大きい。さらに、他の福祉医療制度との整合や、医療機関等との協力など、決しなければいけない課題が多く、実現は非常に難しいと考えています。

### 町有地の未利用の解消 を進めては 分譲住宅2区画は売却し、 利用計画を見直す土地も

**問** 町有土地で未利用(塩つけ)となっている物件の売却や利用計画の進捗状況は。

**答** (副町長) 「楊梅苑」に隣接する埋立地は、今後、施設の増床計画が予定されています。分譲住宅用地では、名田庄三重の2区画が売却予定で、あと宅地と商業地で5区画が残っています。

大島南浦と河村の土地は、事業計画や土地利用を検討していきます。

### 企業誘致等特別委員会 研修視察報告

**視察日時** 平成22年1月19日  
**視察場所** 岡山県和気町  
 ホームプラザナフコ和気店  
**参加者** 委員7人

#### ●企業誘致の取り組み

「つみんぴあ大飯地区」への企業誘致第1号となった「株式会社ナフコ」の和気店を視察しました。

今秋に開店を予定する「つみんぴあ大飯店(仮称)」は店舗面積3397㎡で和気店が類似した規模であり、近辺では小浜市の「アヤハディオ」の本館とほぼ同様の大きさになります。

店舗の外観はグリーンとブルーの2色配合を基調に古典的なイメージで表現、建物の高さは非常に高いため天井が高く店内は広々として圧迫感がありません。

通路が広く、商品は種類・量とも豊富でした。また、屋外の商品の陳列も整然としており、園芸用品・花苗が充実していました。

この企業は福岡を拠点に、九州・中国・関西・中部地区の店舗展開



ホームプラザ ナフコ和気店

を進めており、現在254店舗で300店を目標にしています。

ホームセンターと家具・ホームファッションの小売業であり「資材・DIY・園芸用品」、「生活用品」、「家具・ホームファッション」を3本柱とする品揃えで、豊かな暮らしを創造する企業として躍進してきています。

おおい町に出店されることになり、近隣の店舗との独自性が明確化になり、商圏の拡大が図れることを願うものであります。

### 総務常任委員会 研修視察報告

**視察日時** 平成22年1月21日・22日  
**視察場所** 愛媛県西条市  
 兵庫県佐用町  
**参加者** 委員8人

#### ●地域防災事業への取り組み

愛媛県西条市は、近年の台風災害に対して、長期的な展望で地域防災事業を進めています。

平成16年に発生した台風災害の被害経験や、今後予想される南海地震などに備えて、「災害に強いまちづくり」に取り組んでおられます。

また、昨今の想定外の危機事象に対応するため、危機管理対策を基本に明確な計画を立案しておられます。

#### 【最近の主な防災育成事業】

- ・コミュニティネットワークの構築
- ・防災士育成事業
- ・お祭り防災
- ・12歳児教育プログラム
- ・木製ダム、耐震木造構造物

#### ●ゲリラ集中豪雨への対応と対策

兵庫県佐用町は、昨年8月の台風9号により、人的被害をはじめ家屋

やライフラインなどへの甚大な災害を受けた町です。

短時間で想像を超える量の集中豪雨への対応は、困難を極め、夕暮れから夜間に向かっている時間帯であったこともあり、全ての避難情報と対応を的確に伝えることができず、混乱を極めたことでした。

今後は、「ゲリラ的な集中豪雨への対応」と「避難時の弱者対応」など、災害時の多くの反省点を生かしながら、地域防災計画の検証や緊急時の機敏な避難勧告の発令などに取り組んでいかれます。

本町でも、防災システムの再整備が緊急の課題であると再認識しました。



西条市の台風災害状況



# 追跡

1年前の一般質問

## あれからどうなったの？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。今回は、平成21年3月定例会からピックアップしました。



### 水産業振興策を強化すべきでは

資源管理型の漁業振興に向け、予算を増額し、藻場などの造成をさらに進めませんか。

(猿橋 巧 議員)



3月8日に行われた起工式

農林水産振興課長  
答 弁



### 必要性を十分認識しています

水産資源の産卵・育成場所である藻場の造成や海底清掃などを進め、さらに稚魚・稚貝の放流や漁礁設置にも取り組みます。



### 名田庄総合施設の進捗状況は

計画がほぼできあがりでしたが、今後の予定工程を示してください。

(森内 正美 議員)

どうなった？

町長答弁



### 開館は平成23年度中の予定です

事業認定、用地購入などの契約締結も終わり、森林組合事務所の移転が終わり次第、基礎工事に入ります。

どうなった？



### 建築工事が着手されました

国道の法面整備、排水整備工事が終わり、本体工事に入りました。

平成23年3月には本体工事が完成する予定で、その後周辺整備を行います。



大島地先で造成された藻場の育成状況



# イサザを捕る

長井 田中 敏夫さん

3月に入ると春の風物詩イサザ漁が始まった。今年も桜が咲き始めた佐分利川の本郷大橋近くで漁をする方が5～6人見える。

小浜の南川のように川岸から大きな網を川にたらし、掬い上げるやり方と異なり、直接川の中に仕掛けを固定して、河口から遡上してくるイサザを囲いの中に入れ込む方法らしい。浅い川に適したやり方です。

イサザ互助会会長の田中さんは、「この漁は3月から4月10日までの漁期ですが、年々魚が減ってきています。水の濁りや水温、水質の変化に敏感な魚なので、自然環境の変化が要因だろうと思います。春がきてこの漁をすることを楽しみにしている者にとっては一抹の寂しさを感じます。昔のように春には桜ウグイ、夏には鮎、秋に鮭といろいろな魚が上ってきた情景が懐かしく思われます。会員は15人ですが漁に来ているのは9人ほどです」とおっしゃっていました。

ところでイサザは漢字で書くと素魚、スズキの仲間ではセコ科の魚ですが混同しやすいのがシラウオです。こちらはサケの仲間ではシラウオ科の魚、白魚と書きシラウオと呼ぶ、どうもこちらのほうが格は上ようです。

(渡辺 均記)



# 楽しむ

# 鳥を撮る

名田庄納田終 井尻 雅己さん

日本野鳥の会に入会したのが平成4年。現在は福井県支部嶺南ブロック理事として、探鳥会の開催や、調査に協力するといった活動を行っています。

鳥の写真撮影を本格的に撮るようになったのは、一眼レフのデジカメを購入してからで、メモリーの安さにまかせて、数を撮っています。記録としての意味合いが強いのので、作品といえるようなものはほとんどありませんが、地元で見られる鳥を紹介できるような展示を、新しく出来る名田庄総合施設でやりたいという希望を持っています。

私は野鳥撮影には普段は観察に使う望遠鏡に、アダプターを介して取り付けられたカメラを使っています。(1500mm相当) また、最近では、400mmの望遠レンズも併用して使い分けています。先日、新聞に掲載されたコウノトリの写真は400mmで撮影したものです。

小浜市の国富地区に出現したため、大きく取り上げられましたが、福井県内には何度も豊岡で放鳥されたコウノトリは飛んできています。残念ながら、餌を採ることのできる環境がなく、定着はしていません。

おい町にやってくる可能性も十分ありますので、白くて大きな鳥がいたら気をつけて見てください。

(井尻 雅己記)

## 議会の傍聴に来てみませんか

おい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は6月です。傍聴について詳しくは議会事務局(77-1111 内線312)までお問い合わせください。

6月定例会  
の予定

会期：6月15日から30日まで(16日間)

本会議：15日(町長所信表明・議案提案理由説明)、25日(一般質問)、30日(採決)

委員会：総務・産業建設常任委員会(17日)、予算決算常任委員会(15・16日)



議会だよりの編集作業の様子

【中本】

今後とも議会と町民の皆様との交流誌として「議会だより」を発行していきたいと考えますので、ご愛読をよろしくお願ひします。

陽春の日ざしが心地よい春のおとずれを迎えました。地球上の生あるものは、すべて躍動する季節です。

平成22年度予算も3月議定例会において、町長選を控え骨格予算としてスタートしました。近年、本町の財政は、健全性を維持していますが、地方を取り巻く環境は、多事多難の時代を迎えています。

議会も自らが知恵を振り絞り、一層町民の皆様への付託に応えられるよう努力する決意です。

【編集後記】